

京都府域の魅力ある観光地域づくりについて

【担当省庁】国土交通省、観光庁、環境省、経済産業省、中小企業庁

京都府では、北から南まで豊かな自然や長い歴史に育まれた文化等の強みを活かし、「海の京都」「森の京都」「お茶の京都」のテーマを掲げた地域振興プロジェクトにより、特色ある観光地域づくりを進めており、これを推進するため、以下の措置を講じていただきたい。

「海の京都観光圏」の取組の「観光地域ブランド確立支援事業」への採択

- ◆ 本年 7 月に京都府北部地域を「海の京都観光圏」に認定いただいたところであるが、さらなる魅力向上のため、平成 27 年度には、国で概算要求中の「観光地域ブランド確立支援事業」を活用し、歴史・自然・暮らしなどをテーマとした滞在プログラムの提供や「海の京都博（仮称）」の開催など、観光圏としてのブランド戦略を地域で一体的に進めたいと考えている。

ついては、「観光地域ブランド確立支援事業」の予算を確保いただくとともに、「海の京都観光圏」の事業を採択していただきたい。

<観光庁の概算要求>

- ◎ 観光地域ブランド確立支援事業 3 億円（26 年度予算額 3 億円）

国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを促進するため、認定観光圏を対象に、地域独自の「ブランド」の確立を通じた滞在交流型観光の推進に向けた取組を支援

「森の京都」における「由良川・桂川上中流域」の国立公園への新規指定

- ◆ 大都市近郊に残された貴重な天然林である芦生の森や丹波高地の里地・里山など豊かな自然環境を有する京都府の「由良川・桂川上中流域」は、平成 22 年 10 月に、国より国立・国立公園の新規候補地に認めていただいた。

これ以降、京都府では、この豊かな自然環境を保全し、観光資源として活用するため、**国立公園指定**に向けて関係市町や地元関係者と協議を進めてきており、国立公園指定の申請を行う予定であることから、これを**平成 27 年度に指定**していただきたい。

「森の京都」の取組の「地域資源を活用した観光地魅力創造事業」への採択

◆ 京都府では、上述の豊かな自然環境や里地里山文化を活かした観光地域づくりに取り組んでいるところであり、国で概算要求中の「地域資源を活用した観光地魅力創造事業」を活用し、マーケティングや体験プログラム造成、回遊システム等の受入環境整備などを実施し、「森」の観光資源としてのブランド化、経済効果を生む仕組みづくりを進めたいと考えている。

については、「**地域資源を活用した観光地魅力創造事業**」の予算を**確保**いただくとともに、**本事業を採択**していただきたい。

<観光庁の概算要求>

◎ 地域資源を活用した観光地魅力創造事業 5億円（新規）

地域の観光資源を世界に通用するレベルまで磨き上げるため、歴史的景観、自然、農山漁村、食文化等の観光資源を活かした地域づくり施策と、体制づくり、受入環境整備、二次交通の充実等の観光振興のための施策を一体で実施

「お茶の京都」の取組の「ふるさと名物応援事業」への採択

◆ 京都府では、「宇治茶」をテーマに、お茶の歴史・文化、魅力を感じる観光地域づくりに取り組んでいるところである。

そのため、国で概算要求中の「ふるさと名物応援事業」を活用し、菓子・食品への「宇治茶」の利用拡大やお茶の文化・歴史、魅力的な交流エリアと周遊ルートの創出、観光事業者等と連携したツアー造成など、「お茶」をテーマにストーリー性のある展開を図りたいと考えている。

については、「**ふるさと名物応援事業**」の予算を**確保**いただくとともに、**本事業を採択**していただきたい。

<経済産業省の概算要求>

◎ ふるさと名物応援事業 23億円（新規）

「ふるさと名物」の開発、販路開拓、マーケティング、地域ブランド力を高める取組、着地型観光、海外展開等、地域全体の付加価値向上に向けた取組を支援

【現状・課題等】

◎ 「海の京都」観光圏

めざす将来像「海の京都」観光圏

(持続的な経済活動と定着人口の維持・増加)

双極構造
(京都市に対抗できる高い目標意識)

- 京都市内とは異なる強い集客力を持つ新たな魅力の観光圏を形成
- 京都市内に比肩する国際競争力を持つ「海の京都」観光圏を目指す

魅力的なゲートウェイと周遊システム
(共同と連携)

- 海・道路・鉄道のゲートウェイを魅力的なエリアとして整備
- 観光拠点間がお互いを理解し、協調
- 利便性の高いハード・ソフトの周遊システム
- 複数拠点の連携により宿泊客の増大、雇用など地域経済への波及

強いブランド力を持つ観光拠点の整備(選択と集中)

- 強いブランド力を持った観光拠点を複数箇所選択し、集中的に整備

内発的地域づくり(自立)

- 圏内の人たちによるイノベーションや投資
- 持続可能な内発的(自立的)地域づくりを実現

平成27年 集客・交流イベント 地域の力が集結！海の京都博(案)

1 目的

- ◆京都縦貫自動車道の全線開通に合わせた観光誘客
- ◆「海の京都観光圏」の観光地域づくりの成果を全国発信
- ◆地域住民と共に作る、海の京都ならではの感動と新感覚を提供

2 事業全体イメージ

5月末	7市町拠点の催し(地域が自ら作る)	8月末
オープニングイベント	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ●戦略拠点コンセプトツアー ●海の京都広域周遊ツアー ・滞在交流体感プログラム ・歴史、農漁業、伝統工芸体験 ・ジオパーク、里山、酒蔵めぐり 等 </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>地域の力 ・暮らし 観光関連 ・交通 農林水 産業 伝統産業 ・商工 若者・高校生</p> </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ●タウンツーリズム(まち博) ●地元学生と作る海の京都学園祭 ●祭事、関連イベント ・地域の魅力を再発見するガイドツアー ・食の祭典や物販、高校生レストラン等 </div> </div>	クロージングイベント
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ観光 ・TANTANロングライド ・マリンスポーツ(カヌー、カヤック) ・ビーチ、マラソン、ハイキング 等 </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ●特別展示・特別公開 ・丹後郷土資料館にて特別展示 ・普段は非公開の寺社、秘仏等を特別に公開 </div> </div>	定住促進 自立継続的な観光地域づくり
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>地域周遊システム構築(交通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公共交通周遊バス、高速道路フリーバス ■クルージング、企画列車 ■スタンプラリー企画 </div> <div style="width: 45%;"> <p>情報提供・発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ■海の京都パスポートや海の京都博ガイドブック ■地域コンシェルジュ(観光案内・プログラム販売所) ■海の京都博専用ポータルサイト </div> </div>	
地域住民全体での参加・盛り上げ		

3 効果

- ◆地域活性化、地域の意識向上 → 自立・継続的な地域づくり
- ◆地域主体のイベント、入込・宿泊客数の増加 → イベント後の活用を見据えた取組
- ◆海の京都のブランド強化(都市部におけるブランド認知度・訪問者満足度向上)

◎ 「森の京都」の平成 27 年度の取組（予定）

「森の京都」をテーマに、観光資源の発掘・ブランド化、受入環境整備、二次交通整備等の観光まちづくり施策を、府・関係市町・民間が協働して一体的に推進

- 地域資源・資産価値の再定義とブランド戦略づくり
- 森の文化・歴史、恵みを感じる戦略拠点づくり
 - ・ 公共施設の木質化、森の散策道、ビジターセンター、展望・休憩施設、里山レストラン・農家民宿、案内看板等の整備、ペレットストーブ導入等
 - ・ 土産物・食の開発、宿泊施設開設支援・誘致、有料ガイド育成、ツアー造成等
 - ・ 森のクラフトモール（木工、染織、食品等の開発、工房ツアー造成等）
 - ・ スポーツ観光聖地づくり
- 観光・交通事業者等と連携したプロモーション
- 各地域の豊かな資源をつなぐ森・里の回遊システムの整備

◎ 「お茶の京都」の平成 27 年度の取組（予定）

「宇治茶」をテーマに、美しい茶畑景観の維持や観光資源の発掘、ブランド強化、お茶の歴史・文化・魅力を感じる交流エリアの創出・発信、回遊システム整備等の観光まちづくり施策を府・関係市町村・民間が協働して一体的に推進

- 「宇治茶」の価値の共有・再発見・ブランド強化
 - ・ 美しい茶畑など「宇治茶生産の景観」の維持・価値の向上、戦略的な発信
 - ・ 「プレミアム宇治茶」のブランディング、産学官連携による機能性食品開発 等
- お茶の歴史・文化、魅力を感じる戦略拠点づくり
 - ・ 茶園や街並み修景、展望台、駐車場、縁側カフェ・レストラン、体験施設、案内看板等の整備 等
 - ・ 「お茶の京都」交流戦略アドバイザーの設置（観光受入環境整備、土産物開発等支援）
 - ・ スポーツ観光聖地づくり
- 観光・交通事業者と連携した観光プロモーション、SNS等による多様な情報発信
- 各地域の魅力的な資源・拠点をつなぐお茶の回遊システムの整備

【京都府の担当課】

企画理事（地域構想推進担当） 075-414-4529
文化環境部 自然環境保全課 075-414-4378
商工労働観光部 観光課 075-414-4841